

市議会議員あいざき佐和子の活動ニュース v o 1.30 ITAMI大好き! 2013年2月

市民の声から ~こんなお声いただきました~



■どんな要望があるのか?

「相崎さんは“市民からの要望に対応している”とよく言っているが、一体どんな要望があるのか?」・・・そんな質問をいただきました。

確かに普段から、電話やメールなどで様々なご要望をいただきます。国政レベルの事、市の諸課題、プライベートな話まで様々。実現の可能性についても様々。もちろん頂戴したお声には、調査やヒアリングをして一定の回答をお返ししています。ただこれらのことは、量が多くプライベートの話もあるゆえ、全てを活動ニュースやブログで報告するに至っておりません。

よって、「どんな要望があるのか分からない」との疑問は、誠にごもっとも。そこで今回、よくいただくご要望とその見解について、いくつかピックアップしてみました。

■よくいただく要望①「危険箇所の対策を！」

「信号をつけてほしい」「ミラーを設置してほしい」・・・危険箇所の対策を求める声は、大変多いです。最も多いといっても過言ではありません。

“どこが危険か”は、実際に生活しないと判りません。ゆえに地元からのこういう声は有難い限り。お声があれば現地に伺い、諸対策に当たっています。

ただ、この手の事柄はすぐに話が進まないケースもあり。理由は主に3つありまして

- ①管轄が分かれている（国道なら国・県道なら県・市道なら市・信号は警察。。。例えば“県道の歩道橋を撤去して信号を設置する”だと、県・市・警察が関係し、決定に時間がかかるケースも）
- ②要望箇所が多い（信号もミラーも要望数が多いらしい。県も市も財政に限りがあるゆえ、どうしても“優先度”が検討されることに）
- ③形状的に対応が難しいケースも多い（“危険な状況は認識すれど、状況的に対応が困難”というケースもあり。注意喚起の看板を設置するくらいしか対応できなかったケースも経験）

なかなか話が進まず、「市民の安全を真面目に考えているのか」「やる気があればスグにできるはずだ」とお叱りを受けることも。私も都度反省しながら、交渉を重ねたり、改善策に知恵を絞ったりなど、尽力している次第です。

これまでを振り返ると、注意喚起の看板・人形・ステッカーの設置は、数ヶ所で実現。信号機設置は現在交渉中。某通学路の危険箇所は対策を検討中です。

市民の安全安心は、何をおいても最優先で取り組むべきことだと認識しています。

■よくいただく要望②「保育所に入りたい！」

「保育所に入所できるか心配!」「待機児童になってしまった!」・・・保育所に関するお声も本当に多いです。これもひとえに、市の保育サービスの至らなさをゆえんで、ご不便・ご心痛をおかけしている方々に申し訳ない限りです。

市も漫然とやり過ごしているわけではなく、新保育所の誘致・認定こども園（幼稚園と保育所を一体化した施設）の整備など、諸対策を講じています。ただ、保育所ニーズが急上昇しており、供給が追いつかないのが現状です。私も本会議などで都度声を上げていますが、未だ十分な状況ではなく申し訳ない限りです。

さて、一部では「議員に頼むと保育所に入所できるらしい」という噂が、あるとかないとか。結論から申し上げますと、議員口利きの保育所入所は不可能です。逆に可能だと大問題です。実際に私も、下の子は待機児童でしたし（約3年半前の話。数ヶ月待機）、また最近も同僚議員の1歳の子もさんが待機児童になったと聞くところです。

ただ、ご相談いただいた場合、ヒアリングをして状況等をお知らせすることは可能です。「この保育所はかなり待機が多いです」「ここなら少し余裕があるかも」・・・極力多くの情報を提供できるように努めています。少しでもご家庭の判断材料になり心労の軽減になればとの想いです。経験者ゆえ心痛が手に取るようにわかることから、少しでも力になりたいと思うのです。

今後も誠心誠意、情報提供に努めるとともに、伊丹市の保育環境の一層の向上に尽力します。